

2023（令和5）年1月11日

小金井市長 白井亨 様

会派みらいのこがねい

岸田 正義

沖浦あつし

鈴木 成夫

村山ひでき

コロナ対応臨時交付金の活用に関する要望書

令和4年度中に事業精算まで完了すべき「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（以下「コロナ対応臨時交付金」）が一般会計補正予算（第12回）を経ても、なお約7000万円が残っていることが明らかになった。白井市長は「コロナ対応臨時交付金の残金活用策について要望があれば提案してほしい」と発言しており、貴重な交付金を見逃すことなく市民のために活用するため、会派みらいのこがねいは、残る約7000万円について活用する施策を以下、要望する。

記

- ①今年1月10日、小金井市商店会連合会が小金井市に提出している要望書で提案された市内18商店会加盟事業者および小金井市商工会加盟事業者の計約1500事業者に商品券3万円を配布する事業を検討し予算化すること。
- ②昨年7月15日、小金井市商店会連合会は「東京都商店街デジタル化推進事業」に採択され「キャッシュレスで小金いらずプロジェクト事業」を実施中である。昨年12月1日に小金井市商工会と小金井市商店会連合会の連名で事業補助の要望書が小金井市に提出されており、コロナ対応臨時交付金を使って対応すること。
- ③高齢者支援策として、高齢者世帯へのタクシーチケット配布事業、運転免許証を自主返納し「運転経歴書」を持参した高齢者の方にタクシーチケットあるいはコミュニティバスの回数券を提供する事業など、高齢者の外出機会の創出とタクシー事業者等支援を目的とする事業を予算化すること。
- ④障がい児・者、難病者を対象にしたタクシー代及びガソリン代に対し月3000円を上限とした助成金が支給されている。助成金は半年ごとに領収書と引き換えに上限額を助成する仕組みであるが、この助成金のうち、令和4年10月から令和5年3月までの半年分、ひと月の助成額の上限を1000円上乗せして支給すること。
- ⑤以上、提案要望した施策を実施するための補正予算議案を編成し、審議するための臨時会の早期開催を求める。

以上